



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 田之畑 武 (TEL) 099-273-3859
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 12,232 | △9.7 | 294 | △19.2 | 431 | 5.4 | 262 | 98.5 |
| 2018年3月期 | 13,551 | 1.6 | 365 | △13.8 | 409 | △18.2 | 131 | △39.8 |

(注) 包括利益 2019年3月期 233百万円(54.4%) 2018年3月期 151百万円(△39.0%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2019年3月期 | 57.94 | — | 4.5 | 3.5 | 2.4 |
| 2018年3月期 | 28.05 | — | 2.2 | 3.4 | 2.7 |

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 13,011 | 5,422 | 41.7 | 1,398.68 |
| 2018年3月期 | 11,946 | 6,153 | 51.4 | 1,304.85 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 5,422百万円 2018年3月期 6,139百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年3月期 | △6 | △372 | 719 | 1,959 |
| 2018年3月期 | 476 | △654 | △299 | 1,624 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年3月期 | — | 0.00 | — | 9.00 | 9.00 | 42 | 32.1 | 0.7 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 9.00 | 9.00 | 34 | 15.5 | 0.7 |
| 2020年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 9.00 | 9.00 | | 14.5 | |

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 6,916 | 15.1 | 283 | △1.2 | 308 | △11.7 | 173 | △16.7 | 44.64 |
| 通期 | 14,203 | 16.1 | 409 | 39.0 | 458 | 6.3 | 240 | △8.3 | 62.02 |

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期 | 4,746,000株 | 2018年3月期 | 4,746,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期 | 868,889株 | 2018年3月期 | 40,889株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2019年3月期 | 4,523,017株 | 2018年3月期 | 4,705,111株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|-------|-----------------------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 6,948 | △14.7 | 103 | 12.7 | 354 | 25.0 | 252 | 57.0 |
| 2018年3月期 | 8,142 | △2.8 | 91 | △71.5 | 283 | △43.8 | 160 | △46.7 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2019年3月期 | 55.79 | | — | | | | | |
| 2018年3月期 | 34.17 | | — | | | | | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 10,619 | 4,862 | 45.8 | 1,254.03 |
| 2018年3月期 | 10,285 | 5,582 | 54.3 | 1,186.56 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 4,862百万円 2018年3月期 5,582百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,347 | 23.4 | 282 | 42.1 | 420 | 14.3 | 273 | 9.2 | 70.56 |
| 通期 | 8,164 | 17.5 | 206 | 99.1 | 408 | 15.2 | 265 | 5.2 | 68.50 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料及び添付資料記載の業績予想に関しましては、本資料の発表時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「当期の経営成績の概況」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |
| 4. その他 | 18 |
| (1) 役員の変動 | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

| 区分 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 増減額 | 増減率(%) |
|-----------------|----------|----------|--------|--------|
| 売上高 | 13,551 | 12,232 | △1,319 | △9.7 |
| 営業利益 | 365 | 294 | △70 | △19.2 |
| 経常利益 | 409 | 431 | 22 | 5.4 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 131 | 262 | 130 | 98.5 |

当連結会計年度におけるわが国の経済は、一部地域において、夏場に相次いだ自然災害の影響がみられましたが、全体として企業収益の向上や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復傾向を維持しています。

しかしながら、消費者マインドは力強さを欠いた状況が続き、また、将来の政情不安による原油価格上昇の懸念や消費税率増税予定等から家計負担に影響を及ぼし個人消費の低迷を引き起こすことが不安材料となっていることなど、同業者企業間における価格競争が一層増すなど厳しい経営環境が続くものと思われま。

このような環境の下、当社グループは、「コンプライアンス経営」の意識をより強く持ち、社会からの要請に都度対応しながら、経営理念の実現に向けた取り組みを行っております。また、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、「海外市場の開拓」等の取り組みを積極的に推し進めるなか、品質・安全においては、食品事業及び水産事業に対する商品の信頼性向上やグローバル化した社会で通用する食品安全規格「ISO22000」の認証を2020年3月期までに取得する取り組みを行っております。

また、利益面におきましては、昨年、一部子会社が黒字転換できたことや収益性の悪化による減損損失の計上が軽減されたことにより、利益は回復しております。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高12億232百万円（前期比9.7%減）、営業利益2億94百万円（前期比19.2%減）、経常利益4億31百万円（前期比5.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億62百万円（前期比98.5%増）と減収増益になりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

① 水産事業

水産事業における養魚用配合飼料の販売におきましては、エビ飼料類は、大型台風の接近や急激な高・低水温の変動の煽りを受けるなどし、また、一部取引先の養殖池老朽化が進んでいることなどを背景に、エビ生産における歩留低下及び生産不調等で、給餌量の制限に伴い販売が伸びず前期を下回りました。

また、魚飼料類のヒラメ飼料類及びトラフグ飼料類は、既存客先のシェアアップにより前期を上回りましたが、ハマチ飼料類及びマダイ飼料類は、自社販売は伸びましたが、受託生産販売の大幅な落ち込みがあり前期を大きく下回りました。

なお、受託生産の販売数量は大きく落ち込みましたが、比較的利益率が高い自社製品の販売数量は5%アップで前期を上回りました。

その他、海外向けの販売に関しましては、営業展開や販売の強化を図り海外市場開拓が実りつつあるものの、各国の水産用配合飼料輸入において、近年、原材料使用等の規制が厳しく制限されていることなどの影響を受け、前期と同等の業績となりました。

子会社におきましては、マリンテック株式会社（水産用飼料製造販売及び魚介類種苗生産販売）は、種苗生産販売が振るわず前期を下回りましたが、永屋水産株式会社（生鮮魚介類の卸売販売）及び奄美クルマエビ株式会社（エビの養殖生産販売）は順調に推移し前期を上回りました。

その結果、売上高は75億67百万円（前期比15.1%減）、セグメント利益は4億82百万円（前期比1.0%減）となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、そうめん類は、前期並みに推移しましたが、うどん類及びそば類は、近年、乾麺の消費は食の多様化や少子高齢化等により乾麺離れが進む傾向にあり厳しい環境が続いており前期を下回りました。また、皿うどん類は、一部商品が終売となったことや特売企画販売が減少したことなどから前期を下回りました。一方、即席めん類及び棒状ラーメンは、顧客ブランドの受託製造（OEM）販売が順調に推移したほか、カップ商品「カップ皿うどん」、「体にやさしい五穀スープ類」は、新規取り扱い店が着実に伸びていることもあって前期を上回りました。

子会社におきましては、コスモ食品株式会社（カレールー及び調味料等の製造販売）は前期並みに推移しましたが、株式会社向井珍味堂（穀粉・香辛料等の製造販売）は、商品類の取り扱いが減少し前期を下回りました。なかしま株式会社（冷凍食品の製造販売）は、白えびかき揚げ類等の販売が業績を伸ばし前期を上回りました。

その結果、売上高は46億64百万円（前期比0.7%増）、セグメント利益は2億49百万円（前期比9.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億64百万円増加の130億11百万円となりました。

流動資産は、10億82百万円増加し65億91百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加2億22百万円、受取手形及び売掛金の増加1億81百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加7億20百万円による一方で、その他流動資産の減少42百万円によるものです。

固定資産は、17百万円減少し64億20百万円となりました。主な増減は、機械装置及び運搬具等の有形固定資産の増加2億22百万円による一方で、のれん及びその他の無形固定資産の減少1億15百万円、投資その他の資産の減少1億24百万円によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ17億95百万円増加し75億88百万円となりました。

流動負債は、9億28百万円増加し42億64百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加68百万円、短期借入金の増加9億16百万円による一方で、未払法人税等の減少19百万円によるものです。

固定負債は、8億67百万円増加し33億23百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加7億76百万円によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ7億31百万円減少し54億22百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加2億19百万円による一方で、資本効率向上のため自己株式9億21百万円を取得したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度と比べ3億34百万円増加し19億59百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によって支出した資金は6百万円（前連結会計年度は4億76百万円の収入）となりました。

主な要因は、減価償却費4億30百万円、仕入債務の増加額68百万円などの資金の増加要因があった一方で、売上債権の増加額1億81百万円、たな卸資産の増加額7億20百万円などの資金の減少要因があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によって支出した資金は、前連結会計年度と比べ2億82百万円減少し3億72百万円となりました。

主な要因は、保険積立金の解約による収入1億89百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出5億91百万円、投資有価証券の取得による支出1億23百万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によって得られた資金は7億19百万円（前連結会計年度は2億99百万円の支出）となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出7億41百万円、配当金の支払額42百万円、自己株式の取得による支出9億21百万円などの資金の減少要因があった一方で、短期借入金の増加額5億60百万円、長期借入れによる収入の増加額18億75百万円の資金の増加要因があったことなどによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2015年3月期 | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 | 49.5 | 51.8 | 49.4 | 51.4 | 41.7 |
| 時価ベースの自己資本比率 | 33.3 | 34.3 | 38.8 | 45.1 | 29.8 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | 4.2年 | 5.4年 | 3.4年 | 7.4年 | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 32.1 | 28.4 | 58.3 | 27.7 | — |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ 2019年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

セグメント別の「水産事業」におきましては、主力の養魚用飼料製造販売において、受託先企業の内製化に伴い生産の大幅な減少が見込まれております。その対策として、国内における営業の増員による自社製品の販売強化を図る一方、新たな商材の「ウナギ用配合飼料」、「マグロ用配合飼料」の品質向上及び市場開拓に取り組んでまいります。

また、海外向けに関しましては、エリアごとに適した人材を配置し、主要なアジア圏や新規販路としての中南米での取り組みに力を入れてまいります。

子会社におきましては、永屋水産株式会社は、「鮮魚販売」を中心に堅調な推移を見込んでおります。マリントック株式会社は、「アユ・ヒラメ等の種苗生産」が安定しており、産学連携の種苗生産研究や海外向け種苗生産コンサルティング事業にも取り組んでおります。奄美クルマエビ株式会社は、養殖池改修工事後、エビ育成状況も良好で推移しており売上増加を見込んでおります。

水産事業は、育てる漁業を前面に持続可能な漁業に寄与すべくグループ一体となって相乗効果を高めてまいります。

「食品事業」におきましては、主力とする「皿うどん類」、「即席めん類」及び「カップ類」の販売を伸ばしてまいります。原材料費や物流費用などのコスト上昇による収益圧迫が予想されます。対策として、営業を強化し既存店のアイテム拡大と新規導入店舗の拡大に努めます。チャネルとして、コンビニエンスストア、土産ルート、高価格帯スーパー、ノベルティ、総菜ルート、海外販売、OEM向けに営業を強化してまいります。

子会社におきましては、コスモ食品株式会社の「カレールー」や株式会社向井珍味堂の「きな粉」など、マーケットにおいて高い評価を得ている製品においては引き続き安定した売上を確保できる見込みです。「冷凍かき揚げ」を手掛ける株式会社なかしまに関しても、子会社化以降取り組んでまいりました各現場における内部統制も整備され、攻めの営業を展開してまいります。

食品事業は、情報共有や共同販促などによりグループブランド化に取り組んでまいります。

その結果、2020年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高142億3百万円、営業利益4億9百万円、経常利益4億58百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億40百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められる会計基準に基づいて作成しております。また、連結財務諸表の作成にあたっては、見積もりが必要なものについては、合理的な基準に基づいて行っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,069,104 | 2,291,532 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,646,410 | 1,827,893 |
| 商品及び製品 | 497,193 | 587,637 |
| 仕掛品 | 137,370 | 582,327 |
| 原材料及び貯蔵品 | 994,621 | 1,179,808 |
| その他 | 175,648 | 133,535 |
| 貸倒引当金 | △11,718 | △11,589 |
| 流動資産合計 | 5,508,628 | 6,591,145 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 5,231,109 | 5,375,079 |
| 減価償却累計額 | △3,681,644 | △3,796,532 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,549,465 | 1,578,547 |
| 機械装置及び運搬具 | 5,403,728 | 5,653,427 |
| 減価償却累計額 | △4,685,211 | △4,826,732 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 718,517 | 826,695 |
| 土地 | 2,126,315 | 2,127,540 |
| 建設仮勘定 | 46,275 | 78,316 |
| その他 | 503,920 | 590,825 |
| 減価償却累計額 | △388,850 | △423,436 |
| その他（純額） | 115,070 | 167,388 |
| 有形固定資産合計 | 4,555,644 | 4,778,488 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 413,362 | 311,169 |
| その他 | 52,226 | 38,558 |
| 無形固定資産合計 | 465,588 | 349,727 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 658,644 | 671,652 |
| 繰延税金資産 | 113,205 | 129,586 |
| その他 | 685,395 | 531,368 |
| 貸倒引当金 | △40,505 | △40,505 |
| 投資その他の資産合計 | 1,416,739 | 1,292,101 |
| 固定資産合計 | 6,437,972 | 6,420,316 |
| 資産合計 | 11,946,601 | 13,011,462 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 700,420 | 768,948 |
| 短期借入金 | 1,924,517 | 2,841,142 |
| 未払法人税等 | 86,047 | 66,434 |
| 賞与引当金 | 155,721 | 160,394 |
| その他 | 469,549 | 427,795 |
| 流動負債合計 | 3,336,255 | 4,264,715 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,678,194 | 2,454,803 |
| 役員退職慰労引当金 | 474,444 | 497,734 |
| 退職給付に係る負債 | 85,994 | 91,314 |
| その他 | 217,829 | 280,058 |
| 固定負債合計 | 2,456,462 | 3,323,910 |
| 負債合計 | 5,792,718 | 7,588,625 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 603,900 | 603,900 |
| 資本剰余金 | 458,400 | 458,400 |
| 利益剰余金 | 4,987,383 | 5,207,107 |
| 自己株式 | △28,968 | △950,908 |
| 株主資本合計 | 6,020,714 | 5,318,498 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 118,760 | 104,338 |
| その他の包括利益累計額合計 | 118,760 | 104,338 |
| 非支配株主持分 | 14,407 | — |
| 純資産合計 | 6,153,882 | 5,422,836 |
| 負債純資産合計 | 11,946,601 | 13,011,462 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 13,551,129 | 12,232,082 |
| 売上原価 | 10,887,124 | 9,610,094 |
| 売上総利益 | 2,664,004 | 2,621,988 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃諸掛 | 456,635 | 490,037 |
| 役員報酬 | 106,921 | 101,681 |
| 給料及び賞与 | 579,965 | 585,032 |
| 賞与引当金繰入額 | 65,953 | 66,085 |
| 退職給付費用 | 20,818 | 27,338 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 25,460 | 23,290 |
| 法定福利及び厚生費 | 113,991 | 114,114 |
| 旅費及び交通費 | 55,166 | 59,530 |
| 賃借料 | 3,785 | 3,486 |
| 減価償却費 | 61,796 | 58,883 |
| のれん償却額 | 94,694 | 71,841 |
| 研究開発費 | 240,937 | 241,583 |
| その他 | 472,759 | 484,217 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,298,884 | 2,327,124 |
| 営業利益 | 365,120 | 294,863 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,823 | 5,769 |
| 受取配当金 | 9,790 | 9,301 |
| 受取手数料 | 9,745 | 9,683 |
| 受取保険金 | 2,321 | 59,386 |
| 補助金収入 | 23,795 | 27,938 |
| 雑収入 | 37,480 | 64,351 |
| 営業外収益合計 | 85,956 | 176,431 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,638 | 17,708 |
| 為替差損 | 20,558 | 5,301 |
| 雑損失 | 3,442 | 16,708 |
| 営業外費用合計 | 41,639 | 39,718 |
| 経常利益 | 409,437 | 431,576 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 9,345 | — |
| 特別利益合計 | 9,345 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 100,000 | 30,351 |
| 投資有価証券売却損 | — | 6,988 |
| 投資有価証券評価損 | — | 9,499 |
| 特別損失合計 | 100,000 | 46,839 |
| 税金等調整前当期純利益 | 318,782 | 384,736 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 207,336 | 146,956 |
| 法人税等調整額 | △20,255 | △9,881 |
| 法人税等合計 | 187,081 | 137,074 |
| 当期純利益 | 131,700 | 247,662 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | △292 | △14,407 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 131,993 | 262,069 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 131,700 | 247,662 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 19,368 | △14,422 |
| その他の包括利益合計 | 19,368 | △14,422 |
| 包括利益 | 151,068 | 233,239 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 151,361 | 247,647 |
| 非支配株主に係る包括利益 | △292 | △14,407 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 603,900 | 458,400 | 4,911,851 | △28,968 | 5,945,182 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △56,461 | | △56,461 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 131,993 | | 131,993 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 75,532 | — | 75,532 |
| 当期末残高 | 603,900 | 458,400 | 4,987,383 | △28,968 | 6,020,714 |

| | その他の包括利益累計額 | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 99,392 | 99,392 | — | 6,044,575 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △56,461 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 131,993 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 19,368 | 19,368 | 14,407 | 33,775 |
| 当期変動額合計 | 19,368 | 19,368 | 14,407 | 109,307 |
| 当期末残高 | 118,760 | 118,760 | 14,407 | 6,153,882 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 603,900 | 458,400 | 4,987,383 | △28,968 | 6,020,714 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △42,345 | | △42,345 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 262,069 | | 262,069 |
| 自己株式の取得 | | | | △921,940 | △921,940 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 219,723 | △921,940 | △702,216 |
| 当期末残高 | 603,900 | 458,400 | 5,207,107 | △950,908 | 5,318,498 |

| | その他の包括利益累計額 | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 118,760 | 118,760 | 14,407 | 6,153,882 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △42,345 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 262,069 |
| 自己株式の取得 | | | | △921,940 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △14,422 | △14,422 | △14,407 | △28,829 |
| 当期変動額合計 | △14,422 | △14,422 | △14,407 | △731,046 |
| 当期末残高 | 104,338 | 104,338 | — | 5,422,836 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 318,782 | 384,736 |
| 減損損失 | 100,000 | 30,351 |
| 減価償却費 | 384,888 | 430,908 |
| のれん償却額 | 94,694 | 71,841 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △350 | △129 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 18,834 | 4,672 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 25,460 | 23,290 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 1,554 | 5,319 |
| 投資有価証券売却及び評価損益 (△は益) | △9,345 | 6,988 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 9,499 |
| 受取利息及び受取配当金 | △12,613 | △15,070 |
| 支払利息 | 17,638 | 17,708 |
| 為替差損益 (△は益) | 20,558 | 5,301 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △25,079 | △181,483 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 43,974 | △720,589 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △34,453 | 68,528 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △39,625 | △8,250 |
| その他 | △126,030 | 43,260 |
| 小計 | 778,886 | 176,885 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12,659 | 15,157 |
| 利息の支払額 | △18,679 | △17,916 |
| 法人税等の支払額 | △295,922 | △180,611 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 476,944 | △6,485 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 189,868 |
| 定期預金の預入による支出 | △708,690 | △501,907 |
| 定期預金の払戻による収入 | 717,395 | 613,922 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △408,901 | △591,298 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 29 | 1,695 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △27,294 | △3,777 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △224,935 | △123,979 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 12,197 | 73,562 |
| その他 | △14,537 | △30,669 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △654,736 | △372,583 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | 440,000 | 560,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 1,875,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △688,267 | △741,766 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △921,940 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △9,228 | △9,710 |
| 配当金の支払額 | △56,461 | △42,345 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 14,700 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △299,256 | 719,237 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △20,558 | △5,725 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △497,607 | 334,443 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,122,246 | 1,624,639 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,624,639 | 1,959,082 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更いたしました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」146,342千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」113,205千円に含めて表示しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が57,140千円減少しております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「雑収入」に含めていた「受取保険金」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「雑収入」に表示していた39,801千円は、「受取保険金」2,321千円、「雑収入」37,480千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会や経営政策会議などにおいて、経営の意思決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の類似性に基づいて事業体系を構築しており、各事業別に製造計画及び販売戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は製品の種類別セグメントから構成されており、「水産事業」及び「食品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「水産事業」は、クルマエビ・ハマチ等の養魚用飼料類の製造販売、タイ・ハマチ等の養殖魚の販売、アユ等の魚類用種苗の生産、クルマエビの生産等であります。

「食品事業」は、麺類、スープ類、カレールー、ドレッシング、きな粉、かき揚げ等の製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

| | 水産事業 | 食品事業 | 計 | 調整額 (注)1 | 連結財務諸表 計上額 (注)2 |
|------------------------|-----------|-----------|------------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,917,296 | 4,633,832 | 13,551,129 | — | 13,551,129 |
| セグメント利益 | 486,881 | 277,229 | 764,110 | △354,673 | 409,437 |
| セグメント資産 | 5,041,481 | 4,700,524 | 9,742,006 | 2,204,595 | 11,946,601 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 214,515 | 150,406 | 364,922 | 19,965 | 384,888 |
| のれんの償却額 | 27,522 | 67,171 | 94,694 | — | 94,694 |
| 受取利息 | 646 | 8 | 655 | 2,168 | 2,823 |
| 支払利息 | 2 | 5,059 | 5,061 | 12,576 | 17,638 |
| 減損損失 | 100,000 | — | 100,000 | — | 100,000 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 214,924 | 199,054 | 413,978 | 31,728 | 445,706 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△354,673千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。
 - (2) セグメント資産の調整額2,204,595千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

| | 水産事業 | 食品事業 | 計 | 調整額 (注)1 | 連結財務諸表 計上額 (注)2 |
|------------------------|-----------|-----------|------------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,567,488 | 4,664,593 | 12,232,082 | — | 12,232,082 |
| セグメント利益 | 482,233 | 249,877 | 732,110 | △300,534 | 431,576 |
| セグメント資産 | 5,900,007 | 4,688,552 | 10,588,559 | 2,422,902 | 13,011,462 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 250,561 | 162,457 | 413,019 | 17,889 | 430,908 |
| のれんの償却額 | 4,669 | 67,171 | 71,841 | — | 71,841 |
| 受取利息 | 531 | 6 | 537 | 5,231 | 5,769 |
| 支払利息 | 879 | 2,181 | 3,061 | 14,646 | 17,708 |
| 減損損失 | 30,351 | — | 30,351 | — | 30,351 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 371,631 | 262,954 | 634,585 | 8,395 | 642,980 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△300,534千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

(2) セグメント資産の調整額2,422,902千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-------------|-----------|------------|
| フィード・ワン株式会社 | 2,079,812 | 水産事業 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

| | 水産事業 | 食品事業 | 計 | 調整額 | 合計 |
|-------|--------|---------|---------|-----|---------|
| 当期償却額 | 27,522 | 67,171 | 94,694 | — | 94,694 |
| 当期末残高 | 35,021 | 378,340 | 413,362 | — | 413,362 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

| | 水産事業 | 食品事業 | 計 | 調整額 | 合計 |
|-------|-------|---------|---------|-----|---------|
| 当期償却額 | 4,669 | 67,171 | 71,841 | — | 71,841 |
| 当期末残高 | — | 311,169 | 311,169 | — | 311,169 |

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,304.85円 | 1,398.68円 |
| 1株当たり当期純利益 | 28.05円 | 57.94円 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 131,993 | 262,069 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円) | 131,993 | 262,069 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 4,705 | 4,523 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② 新任取締役候補

取締役 出来 正樹 (現 当社執行役員)

③ 退任予定取締役

取締役 水間 洋

④ 監査等委員である取締役候補

社内取締役 木通 昌生 (現 当社内部監査室室長)

社外取締役 西 達也 (現 南日本総合法律事務所 弁護士)

⑤ 退任予定監査等委員である取締役

社外取締役 児玉 明

社外取締役 福留 俊一

⑥ 就任・退任予定日

2019年6月27日